

資料室ニュース

2022年9月号

編集・発行：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会（豊中市委託事業）

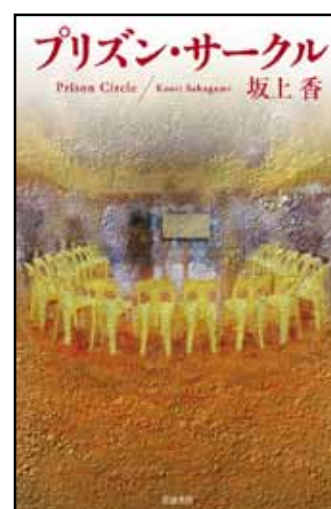
購入図書（2022年7～8月分）

・プリズン・サークル

（岩波書店 著・文：坂上 香 P300）：2,200円

【内容】

受刑者が互いの体験に耳を傾け、本音で語りあう。そんな更生プログラムをもつ男子刑務所がある。埋もれていた自身の傷に、言葉を与えようとする瞬間。償いとは何かを突きつける仲間の一言。取材期間一〇年超、日本で初めて「塙の中」の長期撮影を実現し、繊細なプロセスを見届けた著者がおくる、圧巻のノンフィクション。



・SDG s（持続可能な開発目標）

（中央公論新社 著・文：蟹江 憲史 P304）：1,012円

【内容】

SDG s（持続可能な開発目標）は国連で採択された「未来のかたち」だ。健康と福祉、産業と技術革新、海の豊かさを守る等、経済・社会・環境にまたがる17の目標を2030年までに達成することを求めている。「だれ一人取り残されない」ために目標を設定し、取組方法は裁量に任されているのが特徴だ。ポスト・コロナ時代に、企業・自治体、そして我々個人はどう行動すべきか、第一人者がSDG sの本質を解き明かす。※寄贈図書



・ウトロ ここで生き、ここで死ぬ

(三一書房 著：中村 ^{いるそん}一成 P352) : 3,080 円



【内容】

マイノリティが「お上品」に生きられるほど、ウトロを取り巻く日本社会は優しくない。彼女らの「闘い」は、この社会が不正で成り立っている事実、欺瞞を暴いてもいた……私が地区に通い始めて20年が過ぎた。一世は全員鬼籍に入った。多くの二世ともお別れした。ウトロの歴史を目撃してきた飯場跡や集会所、南端のフェンスなど、地区内にあった、あるいは今も存在する幾つかの物言わぬ「証人たち」を訪ね、そこにまつわる人々の記憶を掘り起こし、彼女らの記録として残したい。

それは、ウトロの人々から少なからぬ時間と言葉を頂戴した者の一人としての義務でもある……

かつて地区の玄関に立てかけられた看板の文言を思い出す。打つ手がなくなった2002年、それでも闘い抜くと決めた団結集会で採択された集会宣言である。

住民たちの記憶と願いを撚り合わせ、今後の闘いの肝を記した宣言「オモニの歌」は、この言葉で結ばれた——

「われら、住んでたかう」。

止めどなく後退していくこの世界で、様々な位相で、とどまって、闘い抜いた者たち。本著はその記録である。

・人権と国家 理念の力と国際政治の現実

(岩波新書 著・文：筒井 清輝 P252) : 946 円

【内容】

今や政府・企業・組織・個人のどのレベルでも必要とされるSDGsの要・普遍的な人権の理念や制度の誕生と発展をたどり、内政干渉を嫌う国家が自らの権力を制約する人権システムの発展を許した国際政治のパラドックスを解く。冷戦体制崩壊後、今日までの国際人権の実効性を吟味し、日本の人権外交・教育の質を世界標準から問う。



資料室の利用方法

図書の貸出は1回につき原則3週間、5冊までです。期限は厳守してください。

貸出カードに名前、住所をご記入ください。電話、FAX、メールでも受け付けています。連絡便での貸出・返却が可能です。貸出中の場合はご了承ください。

〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7

TEL : 06-6841-5300 FAX : 06-6841-6655 mail:bwz37306@nifty.com

